

会 議 要 旨

会 議 名	令和４年度 第１回館山市コーラル会議
開 催 日	令和４年６月２９日（水）午前１０時～１１時２５分
開 催 場 所	館山市役所 本館２階会議室
出 席 者	[委員(敬称略 ５０音順)]合計１１名（欠席 １名） 青木 鉄弘 石井 敏宏 石渡 秀嗣 井田 友海 栗原 史帆 鈴木 ひとみ 西村 勝利 羽山 敏雄 室 厚美 盛島 岳 吉田 育世 [市] 館山市長（途中退席） 中村危機管理部長、鈴木市民協働課長、和田副課長、當麻主任主事、吉田主事
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	０名（定員３名）
会 議 内 容 議事進行 羽山会長	１．開会 ２．市長挨拶 ３．第４期館山市男女共同参画推進プランの中間見直しについての諮問 平成３０年３月に『第４期館山市男女共同参画推進プラン（２０１８年度～２０２７年度）』を策定したが、時代の変化に対応したプランにするため、事業と数値目標については５年後となる令和４年度末を目途に見直すこととしていることから、館山市から館山市コーラル会議に対し、諮問を実施した。 ４．議事 （１）「第４期館山市男女共同参画推進プラン」の令和３年度取組結果について 【事務局より】 ・令和３年度の取組内容や進捗状況について報告。 総取組数１１６に対し、８１の取組についてＡ評価（おおいに取り組んだ）又はＢ評価（取り組んだ）と評価し、Ｃ評価は３５という結果だった。 ・主な要因は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、体験型のセミナー等による事業者への啓発や、人を集めて行う事業の開催が難しかったことによる。 【ご意見・ご質問】 ●全自治組織への女性役員の積極的な登用のための依頼は毎年続けてほしい。 ●市職員の女性の採用が非常に増えており、将来の女性管理職の育成に努めているので、男女の区別なく、能力を見て昇任昇格を行えば、課長以上が自然的に増えるから、ぜひ

	続けてほしい。 ●男性職員の育休参加の促進通知は続けてほしい。 ●男性が少ない分野で男性を増やす取組もしてほしい。 (2) 令和 4 年度審議会等における女性委員割合に関する調査結果について 【事務局より】 ・館山市の審議会等における女性委員割合は、令和 4 年 4 月 1 日現在 2 9 . 5 2 % (昨年度比 1 . 2 5 % 増)。各部署とも、委員の委嘱替えのタイミングだけでなく、欠員が生じた場合に女性の推薦依頼を積極的に行っており、増加した審議会等があった。 【ご意見・ご質問】 (事務局) ●国の女性委員割合は 4 2 . 3 % で、なぜ館山市と比べて高いのか。 詳細は把握していない。国、県に近づけるように努力していきたい。 (事務局) ●女性委員が増えた審議会ではどのような効果があったのか。 効果はすぐには出ないので、長い目で見ていく。 (事務局) ●男性が少ない審議会も多くある。審議会の内容、状況を加味したうえで男女平等にしてほしい。 クオータ制の導入など、その人らしく性別に関係なく輝ける、いろいろな方の意見が出しやすい審議会を目指したい。 (3) 令和 4 年度事業計画について 【事務局より】 ・ 6 月に、男女共同参画週間を HP 等で周知し、町内会とコミュニティ委員会に L G B T についての啓発物を配布 ・ 千葉県男女共同参画地域推進員事業について 中学校出前講座 南房総地域内の 2 校でそれぞれ開催予定 【千葉県男女共同参画地域推進員より発言】 ・再任、新任が半々くらいの構成で、かなり活発な意見交換がされている。 ・地域推進員事業について、「寸劇を 1 回にしてほかの事業を 1 回行うか」という話があったが、これまでの寸劇事業でかなり手ごたえを感じたため、寸劇 2 回とした。 ・「寸劇は古いシナリオなので内容を見直した方が良い」という話が出ている。 【ご意見・ご質問】 ●中学生の時に男女共同参画を学ぶ機会はあるようでなかったので、学べるのは良いことである。 ●南房総地域推進員事業で行える寸劇は多くても 2 校のため、コーラル会議のメンバーでも寸劇事業を行えたらと思う。 ●寸劇事業は、中学生が自分の家を客観的にみられる良い機会である。寸劇を DVD 等で授業の時に鑑賞してもらえたら、さらに広めることができるのではないか。
--	--

(事務局)	●男女共同参画週間は、啓発活動にすごく良いタイミングである。いろいろな手段で目に触れることができればいい。 国の事業で、毎年、6月23日から29日までと決められている。全156町内会に通知し、市HP、Facebook、Twitter、LINE等でも周知した。
(事務局)	(4) 第4期館山市男女共同参画推進プランの中間見直しについて 【事務局より】 ・第4期プランでは、理念や方向性については10年間(2018年度から2027年度まで)とし、個別事業と数値目標については、5年後である2022年度末を目途に見直しを行うこととしている。現状の第4期プランの中で、現状にそぐわない部分を見直していくという方針で、ゼロからの策定よりはかなり簡易的な見直しを予定している。 【ご意見・ご質問】 ●事業が広範囲に及ぶので、ところどころ省いて、ポイントを絞れるようにスリムにした方が良くはないか。
(事務局)	5年後の次期計画を見据えて多くの意見をいただきたい。なお、館山市のプランは、国の男女共同参画社会基本法に基づき、館山市全体の男女共同参画社会の形成を促進するための基本計画として位置づけられている。国、県の計画に基づき、どこまで行えるかということも研究課題とする。
(事務局)	●「社会情勢等が大きく変化した場合は適宜プランを見直す」といった記載があるので、パートナーシップ宣誓制度について、引き続きこちらを進めてほしい。この件に関して、社会情勢は変わっていると感じる。ワークライフバランス、男女の役割というところはかなり近いところである。現時点では項目がないので追加等を議論に入れてほしい。
(事務局)	パートナーシップ宣誓制度は県内では既に取り組んでいる市もあり、全国的な潮流になっていることも事実である。委員からの意見をいただける機会を今年度作りたい。 ●次回の第2回会議で意見交換を行うことになると、正直1時間では1人1言2言で、あまり議論が深まらずに終わってしまう。会議のツール等で事前に意見交換を行ったり、議題にするものを数個に絞ったうえで、議論を行うのはどうか。
(事務局)	この会議後、庁内の部長会議で各課へ報告し、8月にかけて各課から新たに出た意見を元に素案を作り、事前に委員に郵送して、会議当日を迎えたい。ZOOM会議等あるが、現時点で全委員が対応できるかという問題もある。事前にご意見を出していただき、それをまとめたものを次の会議で事前に配れば会議の時短につながる。パートナーシップ宣誓制度、ジェンダーギャップ解消宣言、LGBT支援の宣言等も関心ごとになっており、今年度が見直しの年なので、ご意見をいただきたい。 ●職場で男性女性関係なく育休を取りたいときに対応できるのか考える機会にしてほしい。各課としての活動ではなく、全職員が自分の働き方改革を考えるような取組をしたらどうか。
(事務局)	コーラル会議からの意見として素案に盛り込みたいと思う。 ●市民意識調査の間隔が、現状の10年間では長すぎるので、全体の方向がわかるような簡易的な調査をインターネットのアンケート機能などを活用して毎年できないかを検

	討してほしい。 5．その他 6．閉会
--	---